



誰かのために生きる

校長 花田 修

保護者、地域の皆様、今年度も修了の日を迎えました。子どもたちが大きな事故やけがもなく、無事に1年間を過ごすことができましたのは、みなさまの温かいご支援と見守りのおかげです。心より感謝申し上げます。

さて、先日、日頃お世話になっている地域やPTAの方々をお招きし、「感謝の会」を開催いたしました。その後、会にご参加いただいた地域のお一人から、わざわざ学校へお電話がありました。「子どもたちの歌声を聴いて、涙が出そうになりました。こんなに嬉しいことはありません。ありがとうございました」——受話器の向こうの弾むようなお声からは深く感動してくださった様子がひしひしと伝わり、私自身も胸が熱くなる思いでした。

その言葉をお聞きし、子どもたちの声には、人を勇気づけ、感動させる目に見えない大きな力が宿っているのだと実感しました。ただ上手に歌うのではなく、「目の前にいる方に喜んでもらおう」「幸せな気持ちになってもらおう」という相手を想う優しい気持ちが、歌声の一つひとつに込められていたからこそ、聴く人たちの心にまっすぐ届いたのだと思います。「わたしたちは、自分のために生きているようで、実は、自分ではない「誰か」のために命を燃やし、生きている」。

修了式では、子どもたちにこうしたメッセージを伝えるための話をしました。誰かに喜んでもらいたい、誰かの役に立ちたいと相手を想い、一生懸命になったときこそ、人は最も誇らしい力を発揮できるのだと、子どもたち自身の姿が教えてくれました。

この1年の成長を糧に、新年度も周りの人を想う優しい心を大きく育てていってほしいと願っています。



1年間のご支援に感謝して

こどもたちは日々の学習や行事を通して、確かな成長を見せてくれました。笑顔あふれる日々の中で、仲間と励まし合い、困難を乗り越える姿に、職員一同大きな喜びを感じています。

1年間で大きく成長したこどもたち

学習面・生活面について

- 学習面では、分からないことをそのままにせず、話し合いながら理解を深める姿が多く見られました。
- 生活面では、自分のことだけでなく、友達や周りの人に気を配る「思いやり」が育ちました。
- 行事では、運動会や音楽発表会などで、一人ひとりが力を発揮し、クラスの絆を深めることができました。
- 家庭における学習時間及び学習習慣が定着してきた児童が増えてきました。

こうした成長は、保護者の皆様の励ましと見守りがあってこそです。

進級に向けて

今年度のまとめとして、こどもたちは1年間の振り返りを進めました。自分の良かった点や、来年度に向けた課題を見つけることは、進級に向けた大切なステップです。「できたこと」を自信に、「もっとできるようになりたいこと」を目標として、新しい学年へとつなげていきます。

春休みの過ごし方

春休みは心と体を整える大切な期間です。

- 生活リズムを整えたり学習したり、新年度に向けた準備をしましょう。
- スマホやゲームの使用方法や利用時間に注意しましょう。
- お金や物の貸し借り、交換、おごりあいをしません。
- 家庭の一員としての役割（手伝い）をがんばりましょう。
- 安全に気をつけて、元気に過ごしましょう。

長いお休みだからこそ、家庭での過ごし方が次への力になります。

おわりに

今年度も、こどもたち一人ひとりの成長を保護者・地域の皆様と共に支えてこられたことに、あらためて深く感謝申し上げます。来年度も、こどもたちが安心して学び、挑戦し、伸びていける学校づくりに努めてまいります。どうぞ引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

